topics

第3回スタインウェイ・コンクール in Japan

後藤一宏社長が語る〝コンクールの魅力〟

文・写真◎編集部 劉優華

スタインウェイ・ジャパン代表取締役の後藤一宏氏

2011年から隔年で開催されてきた『スタインウェイ・コンクール in Japan』。〝アットホームなコンクール〟と開催当初から話題を呼んできたが、第3回となる今年は6月15日（月）から参加者の募集が始まったばかりだ。

そこで、このコンクールを運営するスタインウェイ・ジャパン株式会社、代表取締役社長の後藤一宏さんにお話をうかがった。

「このコンクールは1936年にドイツでスタートしました。〝コンクール〟といっても、当初はスタインウェイの直営店やディーラーで行う〝店頭イベント〟に近いもので、本当にこじんまりと開催していたんです。ところが、年々好評をいただくことでその輪が広がり、現在はドイツ国内だけでなく、ヨーロッパやアジア、2011年からは日本でも開催されるようになりました。

このコンクールのコンセプトは、〝子供たちに人前で演奏する機会を与え、楽しんでもらえるようなイベント〟にすること。多くのコンクールは子供たちの演奏に優劣を付けて、より高い演奏技術の習得を目指す趣旨ですが、ここではアットホームな雰囲気の中、自分の弾きたい曲を思いっきり演奏してお客様から拍手をいただくことで、人前で演奏する楽しみを見つけてもらえたらと考えております。

ですので、課題曲も無く、決められているのは制限時間のみ。ジャンルや作曲家の枠にとらわれず、今弾きたい曲を自由に選べるというのは大きな魅力ではないでしょうか」

主催者側の工夫もあり、毎回バラエティーに富んだ選曲が聴衆を楽しませてくれるという。また、予選は全国各地のスタインウェイ・ディーラーで開催されるが、コンクール参加者は本番の前に、コンクールが開かれる会場を借りて練習することもできるそう。

「そうやって、子供たちがスタインウェイのピアノを身近に感じる機会が増えて、楽器を好きになってくれれば本望です」と語ってくれた後藤さん。

10月17日（土）から11月29日（日）の間、全国8カ所で地区審査会が行われ、最優秀賞に選ばれた演奏者は、2016年4月3日（日）にイイノホール（東京）で開催される本選に出場する。ここでみごと大賞に選ばれると、世界各国のスタインウェイ・コンクールで選ばれた代表者たちと共に、本拠地ハンブルクでのコンサートやさまざまなイベントに参加できる〝特別プログラム〟が用意されているとのこと。

「毎回いろんなハプニングがあったり、感動があったり、泣ける演奏にもたくさん出会います。社員総出の手作り的なコンクールですが、スタインウェイピアノのファンがまた増えたという手応えを感じながら、毎回がんばっています。今年もたくさんの子供たちの笑顔に出会えたらいいなと思っていますので、ぜひ皆さん参加してください！」

インターナショナル・スタインウェイ・フェスの様子

波田紗也歌さん

●第2回スタインウェイ・コンクール in Japan 大賞受賞

このコンクールに参加し、演奏の機会をたくさんいただきました。コンクール本番は演奏会のように温かい雰囲気だったので、集中して楽しむことができました。

大賞をいただいた後、小澤征爾さんが受賞された『モンブラン国際文化賞』授賞セレモニーでの演奏やハンブルクでのフェスティバルなど、大きなステージでの演奏機会をいただきました。ドイツでは、大きなホールが満席で、「こんな素敵なところで演奏している！」と、体が熱くなりました。あの時の響き、大きな拍手、感動は一生の宝物です。また、各国の受賞者との交流もあり、夢のような時間でした。これからも、もっと感動してもらえる音楽を奏でられるようになりたいと思いました。

『第3回スタインウェイ・コンクール in Japan』

応募期間：6月15日（月）～7月31日（金）必着

スタインウェイ・ジャパンのウェブサイトから登録のうえ、申込書を郵送のこと。

問スタインウェイ・ジャパン株式会社

www.steinway.co.jp

competition@steinway.co.jp